

櫻の子



6月号 (令和6年5月30日)

児童数 535名

川越市立大東東小学校



令和6年度のチャレンジ

校長 山本 敦子

保護者、地域のみなさま、運動会では、たくさんの声援をありがとうございました。運動会の様子を撮影した写真を見ると、子供たちのキラキラした表情だけでなく、保護者席や来賓席の方々が熱中して応援している様子、温かく笑顔で見守ってくださっている様子がたくさん見られ、ウェルビーイングを推進している私としては、とても嬉しくなりました。感想やお気づきの点がございましたら、ぜひ学校の方にお寄せください。

チャレンジⅠ 体力づくりへの取り組み

令和6年度チャレンジの1つは、子供たちの体力向上への取り組みです。コロナ禍の影響で、子供たちも遊ぶ機会や運動する機会が減り、体力低下が心配されていますが、本校においても喫緊の課題と捉えています。毎年行われている新体力テストの令和5年度の結果では、本校男子児童は、48項目中40項目、女子児童は48項目中39項目が埼玉県平均を下回っているという結果が出ました。これまで以上に、健康を意識した運動や体力づくりへの組織的な取り組みが大事だという職員の共通理解のもと、業間休みのランタイム(ケヤッキーマラソン)を始めました。毎週水曜日の業間に校庭を走ります。自由マラソンですが、体力づくりへの意識を高めるためにも、マラソンカードを作成して、参加を働きかけています。ご家庭でも励ましていただけますとありがたいです。

チャレンジⅡ 授業支援ツールを活用した授業の取り組み

チャレンジの2つ目は、ICTを活用した授業の取り組みです。文科省のリーディングDX事業の指定を受け、現在積極的にICTを活用した授業の事例を研究しています。中でも、「授業支援ツール」(モニター活用中)は、授業の「学び合い」や「まとめや振り返り」の段階で大きな効果を感じているところです。クロームブックをノート代わりやワークシート代わりにし、児童一人一人が自分の考えやまとめについてクロームブックを活用して入力しています。教員は、自分の端末の中で児童全員の入力が一目で見られることにより、挙手が難しい児童の考えも取り上げ、全体で共有し、さらに深めていく授業に発展させることができます。家庭学習を提出してもらう際にも活用しています。この「授業支援ツール」を活用して、5月31日(金)に2年2組算数と5年1組社会の授業を公開します(メール配信の通り)ので、ご都合がございましたら、該当学年でなくても、ぜひご覧になっていただけますとありがたいです。

